◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.424　（2023年度No.52）**　 　2023/12/22

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**くどき上手　穀潰し　1800ml 4,888円**

**亀の井酒造株式会社**<https://www.sakenomy.jp/brewery/K01N006036/>

**なんて忘年会にふさわしい酒でしょう**

**うちの旦那もこの季節　忘年会のはしごだったけれど**

**そんなに　忘れたいことが多いのかしらん**

**年末年始の当会業務予定　年内12/26　年始1/5**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-7** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **7-13** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **13-17** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **17-19** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **19-39** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

12月15日 　かわら版423号を発行・ かわら版ニュース＆トピックス393号を発行

12月19日　 かわら版ニュース＆トピックス394号を発行

12月21日　 第六回常任理事会・運営委員会

12月22日　 かわら版424号を発行・かわら版ニュース＆トピックス395号を発行

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***「令和５年版死因究明等推進白書」を公表します　2023/12/15**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_35682.html>

　政府は、本日、死因究明等推進基本法に基づき、「令和４年度政府が講じた死因究明等に関する施策」（令和５年版死因究明等推進白書）を閣議決定しました。

　「死因究明等推進白書」は、死因究明等推進基本法の第９条に基づき、国会に毎年報告を行う年次報告書です。２回目となる今回の白書の主な内容は以下のとおりです。

【令和５年版死因究明等推進白書の主な内容】

　　○　死因究明等推進計画に基づく施策の推進状況

　　　・ 計画に掲げられた９つの基本的施策（※）ごとに令和４年度中の政府の取組等を記載。

　　　（※）９つの基本的施策

　　　　１死因究明等に係る人材の育成等

　　　　２死因究明等に関する教育及び研究の拠点の整備

　　　　３死因究明等を行う専門的な機関の全国的な整備

　　　　４警察等における死因究明等の実施体制の充実

　　　　５死体の検案及び解剖等の実施体制の充実

　　　　６死因究明のための死体の科学調査の活用

　　　　７身元確認のための死体の科学調査の充実及び身元確認に係るデータベースの整備

　　　　８死因究明により得られた情報の活用及び遺族等に対する説明の促進

　　　　９情報の適切な管理

　○　トピックスとして関係機関の死因究明等に関する取組や、各都道府県における解剖実施体制などを紹介

　　なお、「死因究明等推進白書」は、厚生労働省ホームページの下記ＵＲＬからダウンロードできます。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/shiinkyuumei/23/index.html>

**■医薬品成分を含有する製品の発見について　2023/12/14**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36771.html>

　　本日、長崎県から、別添のとおり記者発表を行った旨の連絡がありましたので、お知らせいたします。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/001178383.pdf>

　医薬品成分が検出された製品について（情報提供）

長崎県では、健康被害の発生を未然に防止するため、医薬品成分の含有が疑われる製品の買上調査を実施しています。

今般、インターネットによる通信販売で製品を買い上げ、成分分析を行ったところ、下記製品から医薬品成分である「アトロピン、スコポラミン、メサコニチン」が検出されました。

医薬品成分を含むものは医薬品とみなされ、厚生労働大臣の承認を受けずに製造販売することは、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（以下、「医薬品医療機器等法」という。）で禁止されています。

これまでに当該製品による健康被害発生の報告は受けていませんが、県民の皆さまへ注意喚起のため、本日より県ホームページに当該製品等を掲載します。

記

１ 医薬品成分を含有した製品の概要

テキスト

自動的に生成された説明

　２ 試験検査機関　長崎県環境保健研究センター

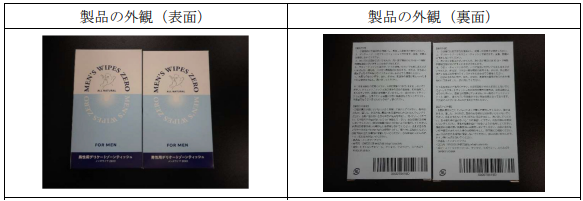
３ 違反の内容　無承認医薬品の販売・授与等の禁止（医薬品医療機器等法第５５条第２項違反）

４ 県の対応

県ホームページで公表し、消費者に注意を呼びかけるとともに、当該製品を購入したサイトの情報から販売業者の所在地と思われる札幌市へ通報しました。また、併せて北海道及び厚生労働省に情報提供しています。

※札幌市による調査の結果、当該製品を購入したサイトに記載の所在地には、販売業者は実在しなかったと報告を受けております。

５ 製品の写真（製品名：メンズワイプゼロ（よろしく そうろう）



　６ 検出された医薬品成分の適応等について

１） アトロピン

国内ではアトロピン硫酸塩水和物を含有した医薬品があります。

適 応：胃・十二指腸潰瘍における分泌並びに運動亢進、胃腸の痙攣性疼痛、痙攣性便秘、胆管・尿管の疝痛、有機燐系殺虫剤・副交感神経興奮剤の中毒、迷走神経性徐脈及び迷走神経性房室伝導障害等

副作用：ショック、アナフィラキシー、口渇、嚥下障害、皮膚発赤、心悸亢進、呼吸障害、粘膜乾燥、瞳孔拡大など

２） スコポラミン

国内ではスコポラミン臭化水素酸塩水和物を含有した医薬品があります。

適 応：麻酔の前投薬、特発性及び脳炎後パーキンソニズム

副作用：霧視、視調節障害、口渇、顔面紅潮、脱力感、悪心、嘔吐など

３） メサコニチン

国内で「ブシ」という医薬品があり、この成分を含んでいます。以下は、医薬品「ブシ」の適応及び副作用です。

適 応：鎮痛、強心、利尿

副作用：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心など

７ 県民の皆さまへ

これまでに当該製品による健康被害発生の報告はありませんが、当該製品の使用により健康被害が発生するおそれが否定できませんので、当該製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止し　てください。また健康被害が疑われる場合には、速やかに医療機関を受診してください。

**■エムポックス患者死亡例について　2023/12/13**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36841.html>

　　我が国では、エムポックスは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10 年法律第114 号）において、４類感染症に指定されており、届出の対象となっています

　　今般、国内初のエムポックス患者死亡例が確認されましたのでお知らせします（参考１：別添の埼玉県報道発表資料［136KB］別ウィンドウで開く）。本件は、世界保健機関（WHO）に対して行っている定期報告の中で、死亡例として報告予定です。

　　お亡くなりになった方の御冥福をお祈り申し上げます。

患者に関する情報は以下のとおりです。

・年代：30代

・性別：男性

・居住自治体：埼玉県

・海外渡航歴：なし

・病歴等：HIV感染による免疫不全

（参考２）：国立感染症研究所「複数国で報告されているエムポックスについて(第6報)」（令和５年11月８日時点）より抜粋「エムポックスは多くは自然軽快するが、小児や妊婦、免疫不全者で重症となる場合がある。」

**■「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会（オンライン会議）開催案内　2023/12/12**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/newpage_00083.html>

　１．日時　令和５年12月12日（火）14:00～16:00

２．場所　オンライン　AP東京八重洲　Bルーム（事務局のみ）

３．議題

（１）食事摂取基準の策定について

（２）その他

４．傍聴等について

報道関係者及び一般の方向けに会議の様子をYouTubeにおいてライブ配信で公開しますので、会場での傍聴はございません。

　６．検討会のYouTube 配信について

URL：第３回「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会(YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=MtiRfh8X7r8>

開催日時より配信予定です。開催日時以降の視聴はできません。

この動画中継（映像及び音声）は、検討会の公式記録ではありません。検討会の公式記録（議事録）は、厚生労働省ウェブサイトに掲載されます。

検討会中継の著作権は厚生労働省に属します。配信している画面あるいは内容を許可なく他のウェブサイトや著作物等へ転載することを禁止します。また、著作権法で許された範囲を超えた複製を固く禁止します。著作権法で許された範囲内で複製する場合でも、その複製物を目的外に利用したり、内容を改変することを禁止します。

**■「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会　資料**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/newpage_00085.html>

　議事次第

（１）食事摂取基準の策定について

（２）その他

資料一式

議事次第　<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001177713.pdf>

【資料１】「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会ワーキンググループにおける検討内容の報告

<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001177714.pdf>

【資料２】ワーキンググループでの作業を踏まえた各論の主な変更点 （ワーキンググループ提出資料）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001177715.pdf>

【参考資料１】「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会 開催要綱及び ワーキンググループ 開催要綱

<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001177716.pdf>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３７２報）　2023/12/19**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36845.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　　※ 基準値超過　４件

　　　No. 21 福島県　　 ニホンジカ　　　 　　（Cs ： 200 Bq / kg )　福島市

　　　No. 26 福島県　　 イノシシ　　　　 　　（Cs ： 380 Bq / kg )　双葉町

　　 No. 27 福島県　　 イノシシ　　　　 　　（Cs ： 350 Bq / kg )　双葉町

　　 No. 44 福島県　　 イノシシ　　　　 　　（Cs ： 250 Bq / kg )　相馬市

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３７１報）　2023/12/12**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36707.html>

　１　自治体の検査結果

小樽市、岩手県、宮城県、仙台市、山形県、埼玉県、川越市、船橋市、東京都、文京区、横浜市、新潟県、山梨県、長野県、岐阜市、京都府、大阪市、徳島県

　※ 基準値超過　１件

　No. 303 長野県　　 ハナイグチ　　　 　　（Cs ： 340 Bq / kg )　軽井沢町

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.26 2023（2023.12.20）2023/12/20**

<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202326m.pdf>

**目次**

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. カンタロープメロンに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella*

Sundsvall および *S*. Oranienburg）感染アウトブレイク（2023 年 12 月 15 日、7 日付更新情報）

**【Morbidity and Mortality Weekly Report（CDC MMWR）】**

1. 米国の各州・地域の保健局 25 カ所から米国環境評価報告システム（NEARS）に報告された食品小売業者に関連する食品由来疾患アウトブレイク（2017～2019 年）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 公衆衛生通知：Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロンに関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Soahanina、*S*. Sundsvall および *S*. Oranienburg）感染アウトブレイク（2023 年 12 月 15 日、7 日付更新情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）／欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 欧州連合（EU）域内のヒト、動物および食品由来の人獣共通感染症細菌と指標細菌の抗菌剤耐性に関する年次要約報告書（2020／2021 年）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. One Health 政策のため欧州食品安全機関（EFSA）が欧州連合（EU）の関連機関と協

　力

**【アイルランド保健サーベイランスセンター（HPSC Ireland）】**

1. アイルランドでノロウイルス感染患者数が増加傾向

**【ProMED-mail】**

1.コレラ、下痢、赤痢最新情報（29）（28）（27）（26）（25）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.25 2023（2023.12.6）　023/12/6**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202325c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【FDA】 FDA は食品中の部分水素添加油に対する最終行政措置を完了する**

米国食品医薬品局（FDA）は、食品への部分水素添加油（PHOs）の使用規定を取り消す直接最終規則の発効日を 2023 年 12 月 22 日と発表した。

**＊ポイント：** 米国ではメーカーの取組みが進んでいることから、特段の反対意見はなく発効日が決定したようです。PHOs については、香港でも「食品中の有害物質（改正）規則 2021」のもと食品への使用禁止の規定が 2023 年 12 月 1 日に発効しています。

**【FDA】 高濃度の鉛の調査：シナモンアップルソースパウチ(2023 年 11 月)**

米国 FDA は、2023 年 12 月 19 日の時点でリコール製品に関連する可能性のある有害事象報告を 69 件受け取っている。現時点でリコール対象製品の拡大はない。さらに、原因調査のため、エクアドルにある Austrofoods 社（リコール対象の WanaBana 製品の米国販売代理店）の施設の立入検査を開始するとともに、エクアドル当局が Austrofoods 社へシナモンを供給している Negasmart 社の調査を実施している。

**【CDC】 シナモンアップルソースパウチ製品に関連した鉛中毒の発生**

米国疾病予防管理センター（CDC）は、WanaBan 製品のリコールに関連した鉛暴露の症例について発表した。2023 年 12 月 15 日時点で、計 205 例が報告され、うち 67 例でリコール製品との関連が確定されている。ただし FDA と CDC はデータソースが異なるため、各機関が発表する有害事象/症例の報告数は一致しないことに注意が必要である。

**＊ポイント：** エクアドル当局の報告によると、生鮮品や未加工品ではなく、粉砕又は粉末のシナモン加工品が汚染されていたようです。汚染原因は特定されておらず、現在も調査中です。FDA の有害事象は主に医療従事者や消費者の自己申告による報告であり、CDC の症例は州保健局を通じた報告に基づく点が異なります。CDC の症例定義では、医学的な観察を必要とする血中鉛濃度の参考値 3.5 µg/dL を指標にしています。

**【FSANZ】 食品基準通知（Notification Circular 273-23）**

**意見募集：新規食品としての培養ウズラの使用を許可することについて**

Vow Group Pty Ltd から、Coturnix japonica（ニホンウズラ）由来の培養細胞を新規食品成分として使用することについて、認可を求める申請が提出された。今回は、細胞ベースの食品製造の最初の 3 段階（細胞株、製造方法、細胞採取）に焦点を当てたオーストラリア・ニュージーランド食品基準局（FSANZ）のリスク評価に対する意見を求めている。

**【ご挨拶】**

2023 年の最終号となります。今年は、「食品安全情報」の発行開始から 20年を迎える記念の年でした。これまでご紹介してきた海外における化学物質関連のトピックスを簡単にまとめましたので、何かのご参考になれば幸いです。来年も引き続き「食品安全情報」をよろしくお願いいたします。皆さま、よいお年をお迎えください。

＊2003～2022 年度の 20 年間に「食品安全情報」で紹介した化学物質のトピックス

　　国立医薬品食品衛生研究所報告, 141, 15-32 (2023).

<https://www.nihs.go.jp/library/eikenhoukoku/2023/015-032.pdf>

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.26 2023（2023.12.20）　2023/12/20　別添**

<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202326ca.pdf>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第924回）の開催について　2023/12/21**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年12月26日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

　（１）薬剤耐性菌に関するワーキンググループにおける審議結果について

・「薬剤耐性（AMR）対策アクションプランに係る食品安全委員会行動計画2023-2027」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（２）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　　・動物用医薬品「フェノキシエタノール」に係る食品健康影響評価について

　　　・微生物・ウイルス「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の改正について」に係る食品健康影響評価について

（３）その他

４．動画視聴について

：本会合については、その様子を動画配信するとともに、会場での傍聴も受け付けます。動画の視聴又は会場での傍聴を希望される方は、12月25日（月）12時までに、内閣府共通意見等登録システム(<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1404.html>　にて申し込みいただきますようお願いいたします。

　動画の視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに視聴に必要なURLを、12月26日（火）12時までに御連絡いたします。

　　なお、会場での傍聴席は限りがありますので、傍聴を希望される方が多数の場合には原則として先着順とさせていただき、傍聴可能な方には12月25日（月）18時までに御登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡いたしますので、受付時間（13：30〜13：50）までに会議室入口で受付をお済ませください。受付時間終了後は入場出来ませんので、ご了承ください。会場で傍聴できない方については、動画視聴に必要なＵＲＬをご送付させていただきます。

　　また、当日の配布資料につきましては、会議開催前までに食品安全委員会のウェブサイト（　<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>　）に掲載予定ですので、必要に応じて参照いただきながら、ご覧ください。

※動画視聴時の録画及び録音、画面撮影はご遠慮ください。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品安全委員会の20年を振り返る**

**第7回　BSE問題後編〜プリオン病情報を収集し、リスクに備える　2023/12/18**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai/20shunen/07_prion_vol2.html>

**BSE以外にもあるプリオン病**

・牛の病気、BSEは、BSEプリオンが原因

・ヒツジ、シカなどのほかの動物種でも、プリオン病が発生している

・とくに、シカの病気、慢性消耗病 (CWD)が警戒されている

・食品安全委員会は、牛以外のプリオン病についてもファクトシートをまとめたりするなどして、情報収集と発信に努めている

　　前編で、牛海綿状脳症（BSE）と変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）問題のこの30年あまりの経緯について説明しました。これらは、感染性を持つタンパク質様の病原体を意味する造語である「プリオン」に感染することで起きる病気で、総称して「プリオン病」と呼ばれています。

プリオン病はこれだけではありません。牛には、ここまで説明してきたBSE（「定型BSE」と呼ばれています）のほか、「非定型BSE」があります。また、牛やヒト以外のめん羊（ヒツジ）、シカ、ミンク、ネコなどの動物種でも見つかっています。近年、とくに世界で警戒が強まっているのがシカの病気、「慢性消耗病」（Chronic wasting disease ; CWD）です。

食品安全委員会はこれらの情報収集も続け、他国政府機関の報告書の要約を翻訳したり、ファクトシートにまとめたりするなどして、ウェブサイトで公開しています。

これらが将来、日本の食に関係してくることはない、とは言い切れません。プリオンによる病気はまだ、わからないことが数多くあります。したがって、ヒトへのリスクとならないように、さまざまな動物種で調査や研究を継続し、万一、リスクの懸念が生じた時に迅速にリスク評価し、効果的なリスク管理を行えるように備えておくことが重要です。

食品安全委員会だけでなく農林水産省や厚生労働省も、プリオン病について、国内の調査や国内外の情報収集、研究助成等に余念がありません。そうやって、将来の食品安全を守ろうとしています。

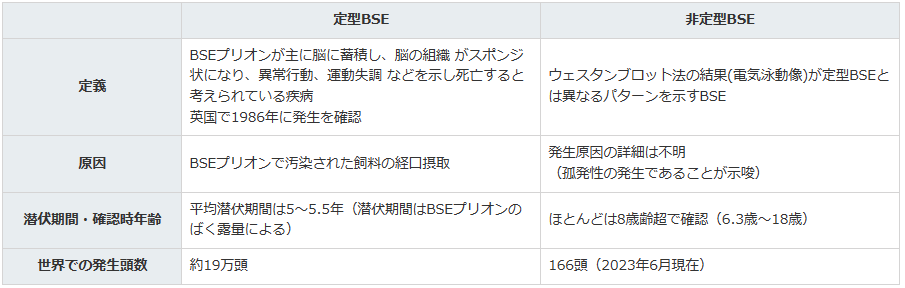
今回は、定型BSE以外のプリオン病についての情報をまとめ、食品安全委員会の現在の取り組みも紹介します。

**世界で166頭が確認されている非定型BSE**

牛の病気である非定型BSEは、定型BSEとプリオンの大きさ（分子量）が少し異なり、検査で識別することができます。発生原因は不明。症状は定型BSEと同じですが、単独で発症し、同じ群で飼われている牛がBSEになるわけではありません。そのため、自然に発生する「孤発型」とみられています。

ヒトのプリオンによる病気であるクロイツフェルト・ヤコブ病にも、自然に発生するタイプがあり、孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病と呼ばれています。年間に100万人の１人の割合で発症する、とみられています。同じように、牛にも孤発型があるようです。

**表１　定型BSEと非定型BSEの違い**



　出典：農林水産省第9回農業・農村政策審議会家畜衛生部会プリオン病小委員会資料、同省「海外におけるBSEの発生について」などから作成

定型BSEと異なる非定型BSEが存在することは、2000年代初頭にはわかっていました。農林水産省動物衛生課によれば、世界で非定型BSEが高齢牛を中心に年間数頭ずつ、計166頭が見つかっています。日本では2003年と2006年に１頭ずつ確認されています。

食品安全委員会は、これまでのBSEのリスク評価では、非定型BSEのデータも含めて行ってきました。

**非定型BSEも、サーベイランスと研究**

非定型BSEのプリオンにも2種類あり、１種は、ほかの牛に非常に大量に食べさせると非定型BSEを発症することが、農研機構の研究などでわかっています。では、定型BSEのような感染拡大がまた、起きるのか？　という心配はしないでください。牛の食肉処理によりできる肉骨粉を牛の飼料とすることは、今も世界各国で禁止されています。また、プリオンが蓄積しているとみられる特定危険部位の除去も続けられています。そのため、定型BSEと同じ経路で非定型BSEの感染が広がる可能性は考えにくいでしょう。

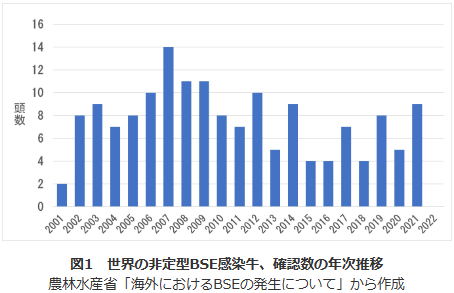
しかし、非定型BSEも不明の点が多いのはたしか。感染経路がほかにないとも限りません。したがって、適切なサーベイランス※と研究を行って非定型BSEの動向をチェックし続けなければなりません。

※サーベイランス：問題の実態や動向を把握し、必要に応じて対策を講じるため、疾病の発生状況、ハザードの含有実態等の変化を系統立てて調査（収集、解析）すること。これに対してモニタリングは、疾病の発生状況、ハザードの含有実態等の変化を監視、探知し、是正措置を講じるために調査する

国内では、最後の定型BSE感染牛の確認が2009年、非定型BSEは2006年で、この10数年は発生が確認されていません。厚生労働省は、食肉用とされる健康牛についてはもう検査を行なっていませんが、BSEの懸念が少しでもある牛、たとえば、食肉用に出荷されたものの獣医師が神経症状をきたしていると判断した牛、病気や事故で死亡した牛で神経症状などを示していた個体などについては、今も検査を実施しています。定型、非定型を問わず、BSE発見に努める体制は、継続されています。

また、厚生労働省や農林水産省は、非定型BSEの研究助成を長年、継続しています。食品安全委員会も、世界の情報を収集しその要約を翻訳し、食品安全情報システムでデータベース化して公表しています。

今のところ、世界的に非定型BSE感染牛が増える兆候はなく、自然発生しているものの感染拡大はしていない、とみられています。



**ヒツジのスクレイピーは250年前から**

牛以外には、めん羊（ヒツジ）や山羊におけるプリオンの病気が有名です。牛とは異なり、250年前から欧州やアジア、北米等で報告されており、「スクレイピー」という病名で知られていました。伝達性があり、ヒツジや山羊が出産する時の体液や組織を介して子どもの個体にうつりますが、大人の個体には伝達しにくい、とされています。

また、これまでの定型スクレイピーとはプリオンが少し異なる「非定型スクレイピー」も見つかっています。高齢の個体に自然発生する「孤発型」で、こちらも伝達しにくい、とみられています。

国際獣疫事務局(WOAH、2022年以前はOIEと称されていた)は、スクレイピーについては定型、非定型ともにヒトには感染しない、と判断しています。食品安全委員会でも、プリオン専門調査会でめん羊や山羊のBSE対策について評価した際に、「現時点では、めん羊及び山羊の肉、内臓等の摂取に由来するスクレイピープリオンによる人の健康への影響は考え難い」と判断しています(第93回プリオン専門調査会)。

**プリオン病の中に伝達型と孤発型がある**

以上のように、さまざまな動物にプリオンによる病気があり、動物の種によりプリオンのアミノ酸配列や構造が少しずつ異なります。プリオン病の中で伝達性を持つものは学術的に、「伝達性海綿状脳症」（transmissible spongiform encephalopathy; TSE）と呼ばれています。

多くのプリオン病は、ヒトに直接うつることはない、とみられています。しかし、1980年代から2000年代まで大きな問題となった定型BSEの起源は、米疾病予防管理センター（CDC）によれば、自然発生したBSE感染牛か、プリオン病にかかったヒツジから作られた肉骨粉が飼料として牛に与えられて発生した、という説が有力。そして、定型BSEは感染拡大し、ヒトのvCJDを招いたと推定されています。

つまり、さまざまな動物種のプリオン病が、なにかのきっかけで伝達性を持ち最終的にヒトの健康にリスクとなるおそれがあります。したがって、伝達性のないプリオン病も含め幅広くサーベイランスやモニタリングを行って見つけ出し、管理してゆく必要があります。農林水産省は家畜伝染病予防法に基づき、国内において18カ月齢以上で死亡しためん羊と山羊、それに鹿（シカ）を対象にTSEの監視・調査を実施しています。

**世界で見つかるシカの病気、CWD**

監視対象にシカも入っていることに、お気づきですね。

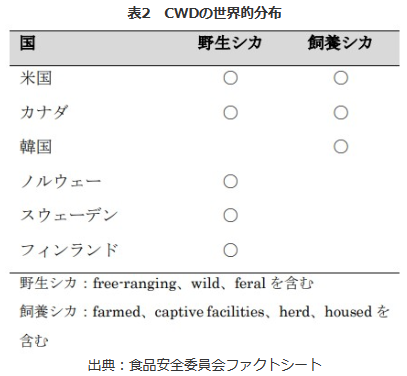
世界的に今、シカの病気、「慢性消耗病」（Chronic wasting disease、CWD）の発生が目立ち、各国ともに警戒を強めています。非定型BSEやスクレイピーは増加傾向が見られないのに対し、CWDは報告数が増えているからです。

CWDは、ミュールジカ、オジロジカ、アカシカ、エルク・ムース（ヘラジカ）などの病気で、2023年3月末現在、米国、カナダ、 韓国、ノルウェー、スウェーデン、フィンランドで見つかっています。

シカがCWDにかかると、元気を失い痩せ細り、唾液の分泌量が増え、ふるえや歩行異常、運動失調、四肢麻痺等の神経症状を呈し、歩行不能となり死亡します。病原体であるプリオンは、感染したシカの脳や脊髄、末梢神経、リンパ系組織、骨格筋や臓器、血液などで広く確認されています。

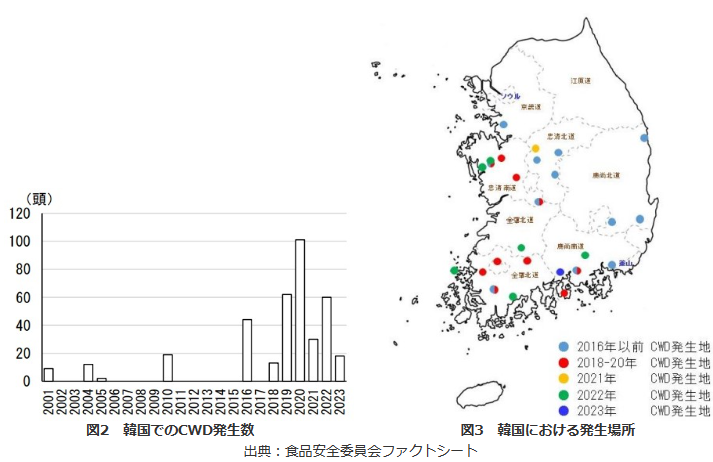
WOAHは、CWDを伝達性のあるTSEの一種とみています。感染したシカは、唾液や糞便中にCWDプリオンを排出しそれが、ほかの個体の口から入ってうつるという「水平感染」が起きるようです。また、母ジカから胎児へうつる「垂直感染」も報告されています。

食品安全委員会も、CWDのファクトシートをまとめています。米国では、1967年に飼育されていたシカで発見されたのが第１号。野生では1981年が初発でした。2000年頃から中西部、南西部、東海岸にも広がり、現在は少なくとも野生・飼育合わせて 31州 に拡大しています(ファクトシートでは30州としていますが、6月にフロリダ州で確認され31州となりました)。



　　北欧の野生個体でも、確認されています。

気になるのは韓国です。以前から見つかっていましたが、2016年以降、感染個体が多く報告されています。



　　ヒトに直接伝達するかどうかについては調査や研究が行われていますが、今のところ、伝達は確認されていません。サルへの接種実験では、リスザルには伝達した一方、カニクイザルには伝達しませんでした。また、感染したシカの肉を食べたヒトは、6年間の追跡でCJD症例は確認されませんでした。

国内では、家畜伝染病予防法に基づきサーベイランスが継続して行われていますが、CWDはまだ見つかったことはありません。また、CWD発生国からのシカ科動物やその畜産物の輸入は、停止措置が講じられています。

食品安全委員会は、収集した海外情報の要約の日本語訳を、ウェブサイトの食品安全総合情報システムで公開しています。「CWD」と入力して、検索してみてください。

**科学的に正しい情報を発信する**

プリオン病はまだわからないことが多数あります。そもそも、定型BSEのはじまりが確定していません。プリオン病といっても動物の種によってプリオンは少しずつ異なり、「種の壁」があってほかの種にはうつりにくいはずなのに、定型BSEはヒトに深刻なリスクとなりました。どうして「種の壁」を超えたのか、今も研究が続いています。逆に、ヒツジのスクレイピーがなぜ、ヒトにうつらないのかもわかりません。

しかし、各種のプリオン病を管理し、ヒトの健康を守らなければなりません。プリオン病について、たとえばCWDを「狂鹿病」「ゾンビ病」などと報じるメディアも出てきています。科学的に正しい情報を一般の人たちに届けてゆくことが必要です。

プリオン専門調査会の専門委員として第１回会合からBSEのリスク評価に携わってきた山本茂貴・食品安全委員会委員長に、この原稿の最後にお尋ねしてみました。この20年とは？

山本委員長はこう答えてくれました。「BSEの評価は当初、不明な点が多かった中で評価を行う難しさがありました。また、飼料規制やと畜場での管理、サーベイランスなど、すでに取り組まれているリスク管理手法について検討する、というリスク評価のやり方は、通常の手法とは異なり、苦労しました。全国を回ってリスクコミュニケーションも行ったのですが、参加者の方から、『理解はしたけれど納得はできない』と言われたのを鮮明に思い出します」。

市民の自然な感情も大事にしつつ、でも、食品安全委員会の基本は科学です。山本委員長は「シカの病気であるCWDがヒトにうつった、という報告はありません。しかし。公衆衛生上の問題にならないよう監視していく必要があります。今後も、国民の健康保護が最も重要、という基本姿勢を崩すことなく、リスク評価に取り組みます」と話しています。 山田委員長

＜参考文献＞

農林水産省・牛海綿状脳症（BSE）関係

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/bse/index.html>

国際獣疫事務局・Bovine spongiform encephalopathy (BSE)

<https://www.woah.org/en/disease/bovine-spongiform-encephalopathy/>

国際獣疫事務局・Scrapie

<https://www.woah.org/en/disease/scrapie/>

食品安全委員会評価書・めん羊及び山羊の牛海綿状脳症（BSE）対策について

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20150608369>

食品安全委員会ファクトシート・慢性消耗病（Chronic Wasting Disease; CWD）

<https://www.fsc.go.jp/factsheets/index.data/factsheets_cwd.pdf>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和5年11月3日から令和5年11月16日）2023/12/11**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2023&from_month=11&from_day=3&to=struct&to_year=2023&to_month=11&to_day=16&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***佐賀県鹿島市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内1例目）に係る移動制限の解除について　2023/12/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/231220.html>

　　佐賀県は、同県鹿島市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内1例目）に関し、発生施設から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年12月20日（水曜日）午前0時（12月19日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）佐賀県は、令和5年11月25日に同県鹿島市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内1例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生施設の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生施設の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）佐賀県は、令和5年12月9日に発生施設の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、佐賀県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和5年11月28日の翌日から起算して21日が経過する令和5年12月20日（水曜日）午前0時（12月19日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

　3.参考

佐賀県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230110_2.html>

佐賀県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内1例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/231128_1.html>

**■***NEW***「国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)」等の結果（農林水産省関係）について　2023/12/18**

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/231218.html>

**■***NEW***台湾に有機表示をして酒類を輸出できるようになります！　2023/12/18**

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/ninsyo/231218.html>

　～2024年から輸出可能に～

2024年1月1日（月曜日）から、有機JAS認証を受けた有機酒類について、有機（organic）表示を付けて、台湾へ輸出できるようになります。また、台湾の制度による認証を受けた有機酒類を輸入しても、JAS制度に基づき「有機」等と表示することができます。

1.概要

これまで、酒類を除く有機農産物及び有機農産物加工食品については、日本と台湾との間において有機JAS制度に基づく輸出入がなされていましたが、有機酒類についても、2024年1月1日（月曜日）から有機JAS制度に基づき輸出入できるようになります。これにより、有機食品の輸出入に係る手間等が軽減され、輸出の増大等が期待されます

2.日本と台湾の有機酒類の輸出入について

有機酒類に関する相互承認の内容は以下のとおりです。

(1)日本から台湾への輸出について

1.対象範囲

有機JAS制度に基づき、日本国内で生産・加工され、有機農産物加工食品として格付がされた有機酒類

2.生産基準

有機加工食品の日本農林規格(令和4年9月1日財務省・農林水産省告示第18号)

(2)台湾から日本への輸入について

1.対象範囲

台湾の制度に基づき、台湾で生産・加工された有機酒類（日本の制度で有機農産物加工食品に該当するもののみ。）

2.生産基準

有機農產品有機轉型期農產品驗證基準與其生產加工分裝流通及販賣過程可使用之物質

（Certification Standard for Organic Agricultural Products and In-conversion Agricultural Products and Allowable Substances in theirProduction, Processing, Packaging, Distribution, and Sale）

3.参考

有機農産物等の輸出入に関する情報については、以下農林水産省ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/yuuki.html>

添付資料

有機JAS制度について

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/ninsyo/attach/pdf/231218-1.pdf>

有機食品の同等性について

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/ninsyo/attach/pdf/231218-2.pdf>

台湾に有機表示をして酒類を輸出できるようになります！

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/ninsyo/attach/pdf/231218-3.pdf>

お問合せ先

新事業・食品産業部食品製造課基準認証室　担当者：酒瀬川、是枝

代表：03-3502-8111（内線4481）ダイヤルイン：03-6744-7139

**■株式会社トライアルカンパニーにおける生鮮水産物及び水産加工品の不適正表示に対する措置について　2023/12/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/231212.html>

　　農林水産省は、株式会社トライアルカンパニー（福岡県福岡市東区多の津1丁目12番2号。法人番号1290001009110。以下「トライアル」という。）が、生鮮水産物及び水産加工品に不適正な表示をし、一般消費者に販売又は店頭に陳列していたことを確認しました。

このため、本日、トライアルに対し、食品表示法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施等について指示を行いました。

1.経過

農林水産省北海道農政事務所及び九州農政局が、令和5年7月21日から令和5年11月28日までの間、トライアルに対し、食品表示法（平成25年法律第70号）第8条第2項の規定に基づく立入検査を行いました。

この結果、農林水産省は、トライアルが経営する店舗において、以下の行為を確認しました（別紙1参照）。

(1)スーパーセンタートライアル岩見沢店（北海道岩見沢市東町678-5）が販売する生鮮水産物めばちまぐろの原産地について、「台湾産（大西洋）」、「台湾産（太平洋）」、「台湾産（インド洋）」及び「太平洋（静岡県産）」であるにもかかわらず、「大西洋（静岡県産）」と事実と異なる表示をし、令和5年5月3日から7月21日までの間に少なくとも64パックを一般消費者に販売したこと。

(2)メガセンタートライアル伏古店（北海道札幌市東区伏古13条3-21-1。以下「伏古店」という。）が販売する生鮮水産物について、以下のとおり表示をし、一般消費者に販売したこと。

ア めばちまぐろの原産地について、「韓国産」であるにもかかわらず、「宮城県産」と事実と異なる表示をし、令和5年9月15日に2パックを販売したこと。

イ ばなめいえびの原産地について、「インド産」であるにもかかわらず、「エクアドル産」と事実と異なる表示をし、少なくとも令和5年9月6日から15日までの間に122パックを販売したこと。

ウ かつおの原産地について、「太平洋（宮城県産）」であるにもかかわらず、「太平洋産（静岡県）」と事実と異なる表示をし、令和5年9月15日に3パックを販売したこと。

(3)伏古店が加工し販売する水産加工品むきえびの原産国名について、「インドネシア」であるにもかかわらず、「中国」と事実と異なる表示をし、少なくとも令和5年7月19日から9月15日までの間に219パックを一般消費者に販売したこと。

(4)伏古店が加工し販売する水産加工品しめさばについて、原材料名が「さば、食塩、砂糖、醸造酢」及び原料原産地名が「ノルウェー」であることを表示せず、令和5年9月15日に1パックを一般消費者に販売したこと。

(5)スーパーセンタートライアル屯田店（北海道札幌市北区屯田9条12-1-1）が販売する生鮮水産物ぶりの原産地について、「長崎県産」であるにもかかわらず、「愛媛県産」及び「長崎県産」と表示をし、令和5年10月10日に1パックを店頭に陳列したこと。

2.措置

トライアルが行った上記1(1)、(2)及び(5)の行為は、食品表示法第4条第1項の規定に基づき定められた食品表示基準（平成27年内閣府令第10号）第18条第1項の表の「原産地」の項の規定に、上記1(3)の行為は、同基準第3条第2項の表の「原産国名」の項の規定に、上記1(4)の行為は、同基準第3条第1項の表の「原材料名」の項及び第2項の表の「原料原産地名」の項の規定に違反するものです（別紙2参照）。

このため、農林水産省は、トライアルに対し、食品表示法第6条第1項の規定に基づき、以下の内容の指示を行いました。

指示の内容

(1)販売する全ての食品について、直ちに表示の点検を行い、不適正な表示の食品については、速やかに食品表示基準の規定に従って、適正な表示に是正した上で販売すること。

(2)販売していた食品について、食品表示基準に定められた遵守事項を遵守していなかった主な原因として、消費者に対し正しい表示を行うという意識及び食品表示制度に関する認識が著しく欠如していたと考えざるを得ないことから、これらを含めた原因の究明・分析を徹底すること。

(3)(2)の結果を踏まえ、食品表示に関する責任の所在を明確にするとともに、食品表示の相互チェック体制の強化、拡充その他の再発防止対策を適切に実施すること。これにより、今後、販売する食品について、食品表示基準に違反する不適正な表示を行わないこと。

(4)全役員及び全従業員に対して、食品表示制度についての啓発を行い、その遵守を徹底すること。

(5)(1)から(4)までに基づき講じた措置について報告書に取りまとめ、令和6年1月12日までに農林水産大臣宛てに提出すること。

参考

本件について、農林水産省九州農政局でも同様のプレスリリースを行っております。

**添付資料**

**別紙1 不適正表示一覧**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/231212-1.pdf>

**別紙2 食品表示法、食品表示基準（抜粋）**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/231212-3.pdf>

**参考 株式会社トライアルカンパニーの概要**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/231212-2.pdf>

**■国際原子力機関(IAEA)による海洋モニタリングに関する報告書の公開　2023/12/12**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/231212.html>

　　今般、IAEAは令和4年11月に実施した分析機関間比較の結果を公表しましたのでお知らせします。この分析機関間比較にはフィンランド、韓国の分析機関も参加しました。

なお、令和4年から実施されているALPS処理水に係る海域モニタリングの裏付けを目的とした分析機関間比較の報告書については、IAEAから別途公表される予定です。

1.概要

国際原子力機関（IAEA）では、日本政府の要請に基づき、我が国の海域モニタリングデータの信頼性、透明性の確保について日本政府を支援するため、平成26年から分析機関間比較（＊ILC：Interlaboratory Comparison）を実施しており、水産庁は平成27年度から水産物の試料採取等を担当しています。

今般、IAEAは、令和4年11月に実施した分析機関間比較の結果を公表しました。本報告書において、IAEAは、前回の報告に引き続き、海洋試料中の放射性核種の分析に参加した日本の分析機関の試料採取方法は適切であり、かつ、参加した日本の分析機関が高い正確性と能力を有しているとしています。

＊ILC

放射能を分析する機関が、試料の採取から分析までの過程において同一の試料を用いて放射能の測定及び分析結果の比較を行い、放射能測定方法の適切さを確認するもの。

2.報告書の公表

報告書（原文）は以下のURLにて入手可能です。また、報告書の概要の仮訳は以下の添付資料をご覧下さい。

<https://www.iaea.org/sites/default/files/23/12/12_japan_ilc_2022_report.pdf>

＜添付資料＞

2022年分の報告書概要（仮訳）

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/attach/pdf/231212-1.pdf>

3.その他

IAEAが作成したILCの紹介動画は下記URLから閲覧することができます。

<https://www.iaea.org/newscenter/multimedia/videos/the-fukushima-data-checkers-monitoring-the-monitors>

（参考）

令和4年11月7日付けプレスリリース「国際原子力機関（IAEA）との共同事業の一環として実施する水産物採取について」

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/221107.html>

お問合せ先

増殖推進部研究指導課　担当者：中山、髙野、中村

代表:03-3502-8111（内線6782）ダイヤルイン：03-6744-2030

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***株式会社ハハハラボに対する景品表示法に基づく措置命令について　2023/12/19**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/035684/>

　　消費者庁は、令和5年12月7日、株式会社ハハハラボに対し、同社が供給する「メラット」と称する機能性表示　食品に係る表示について、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

株式会社ハハハラボに対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231219_01.pdf>

別紙1

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231219_02.pdf>

別紙2

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231219_03.pdf>

別紙3

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231219_04.pdf>

別紙4

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231219_05.pdf>

別紙5

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231219_06.pdf>

参考1及び参考2

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231219_07.pdf>

別添

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231219_08.pdf>

**■***NEW***物流の「2024年問題」と「送料無料」表示について　2023/12/19**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/other/free_shipping/index.html>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）****★は岩手カビ毒の事例**

**★日本珈琲貿易「ベルトリー トマト&バジル、ほか3商品」 - 返金／回収　カビによる汚染の可能性があるため　2023/12/21**

**★JFCジャパン「FUN PART ワッフルコーン ダークチョコレート」 - 返金／回収　アレルゲン「乳」の表示欠落（製造過程中に「乳」が誤って混入した可能性あり）　2023/12/21**

**★蒲郡市農業協同組合「しゅんぎく」 - 返金／回収　ユーゲサイドの一成分（ダイアジノン）を0.05ppm検出（基準値0.01ppm）　2023/12/21**

**★田中屋「ピスタチオミルクと柿の2層ジャム」 - 返金／回収　カビによる汚染　2023/12/20**

**★ボトルワールドOK（富雄店）「吉備高原どり」 - 返金／回収　ケース内の温度が上昇し11℃で販売されていたため　2023/12/20**

**★敷島製パン「サンドロール　ダブルメロン」 - 返金／回収　中身が「サンドロール　つぶピーナッツ」のものを製造出荷したことが判明（アレルゲン「落花生（ピーナッツ）」の表示欠落）　2023/12/20**

**★福島さくら農業協同組合「しゅんぎく」 - 回収　残留農薬基準超過（マラチオン0.02ppm（基準：0.01ppm））　2023/12/20**

**★ふくしま未来農業協同組合「春菊」 - 返金／回収　「フェントエート」を0.07ppm検出（一律基準0.01ppm）　2023/12/20**

**★福井堂「福あわせ　粒餡」 - 返金／回収　賞味期限の表示欠落（本来の賞味期限：24.02.01）　2023/12/19**

**★株式会社松屋「どら焼き、餅どら焼き、栗どら焼き」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分」の表示欠落　2023/12/19**

**★東根市農業協同組合「ラ・フランス」 - 返金／回収　「プロパルギット」が0.30ppmが検出されたため（一律基準値0.01ppm）　2023/12/19**

**★福岡大同青果「かつお菜」 - 返金／回収　農薬成分名クロルフルアズロンを0.05ppm検出(基準値：0.01ppm)　2023/12/19**

**★すき特産「渋皮栗甘納豆」 - 交換／回収　包装包材の輸送時のこすれによるピンホールの発生によりカビ汚染の可能性　2023/12/19**

**★三幸製菓「三幸製菓のお楽しみ袋」 - 返金／回収　アレルゲン「落花生（ピーナッツ）」の表示欠落　2023/12/19**

**★花巻農業協同組合「花巻産南部小麦そうめん」 - 返金／回収　DON基準値を超過した小麦が使用された可能性があるため　2023/12/15**

**★マルキン「焼きそば」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2023.12.25、正：2023.12.14）　2023/12/15**

**★マルゴ水産「セブンプレミアム　国産しじみ」 - 交換／回収　一部の商品に風味不良を生じている可能性があるため　2023/12/15**

**★京都庵「京小鍋　5種野菜の胡麻豆乳」 - 返金／回収　社内基準を超えた微生物の検出があったため　2023/12/15**

**★北海道百科「北海道百科」 - 返金／回収　賞味期限・保存温度帯の表示欠落　2023/12/14**

**★神戸物産「ショコトーネ」 - 返金／回収　安息香酸が検出されたため　2023/12/14**

**★オールハーツ・カンパニー「世にもおいしいテリーヌショコラ」 - 返金／回収　容器包装破損によるカビの発生　2023/12/14**

**★東日本産業「南部小麦粉（岩手県産）」 - 返金／回収　デオキシニバレノール（DON）赤カビ基準値超過のため　2023/12/13**

**★羽沢製菓「南部煎餅：胡麻煎餅、ほか」 - 交換　主原料の小麦粉が、カビ毒の基準値を超えていたため　2023/12/7**

**★社会福祉法人くるみ福祉会「レモンクッキー」 - 返金／回収　カビ毒であるデオキシニバレノール（DON）の基準値超過が報告されている小麦を使用した小麦粉を使用しているため　2023/12/7**

**★北舘菓子舗「はなまがりクッキー、北の舘みそまんじゅう、JOMONクラッカー、ほか6商品」 - 返金／回収　DON（デオキシニバレノール）濃度の基準値超過　2023/12/5**

**★岩手屋「巖手とりから」 - 返金／回収　DON（デオキシニバレノール）濃度の基準値超過　2023/12/4**

**★オーサワジャパン「オーサワの石臼挽き完全粉、オーサワの南部地粉、こな屋さんのてんぷら粉」 - 返金／回収　カビ毒（デオキシニバレノール）濃度の基準値超過　2023/12/4**

**★志賀煎餅「南部せんべい、南部せんべいチョコクランチ、かたい愛で結ばれて、南部スナック」 - 返金／回収　赤カビ（デオキシニバレノール）濃度の基準値超過　2023/12/4**

**★天然酵母パン　メイアンドさつき「天然酵母パン、スコーン、天然酵母の炭火石窯ピザ」 - 交換／返金　DON（デオキシニバレノール）濃度の基準値超過のおそれ　2023/12/1**

**★DOUNEL「かりんとう」 - 返金／回収　DON（デオキシニバレノール）濃度の基準値超過のおそれ　2023/12/1**

**★夢21福祉会「黒糖きなこクッキー、ほか4商品」 - 交換／回収　DON（デオキシニバレノール）濃度の基準値超過のおそれ　2023/12/1**

**★戸田久「むぎかっけ」 - 返金／回収　岩手県産小麦の一部に赤カビの一種のDON（デオキシニバレノール）が基準値を超過して検出されたため　2023/11/30**

**★府金製粉「南部地粉、ほか6商品」 - 返金／回収　基準値を超える濃度のカビ毒（デオキシニバレノール）が含まれることが判明　2023/11/30**

**★古舘製麺所「韃靼そば、ほか20商品」 - 返金／回収　原料の小麦に基準以上の「DON（デオキシニバレノール）」が検出されたとの報告があったため　2023/11/30**

**★いわて生活協同組合「雑穀ブレッド、すいとん粉、県産小麦粉、うどん（乾麺）」 - 返金／回収　DON（デオキシニバレノール）濃度の基準値超過　2023/11/30**

**★オリオンベーカリー「アイコープ岩手県産小麦の雑穀ブレッド」 - 返金／回収　カビ毒による汚染の恐れ　2023/11/30**

**★豊上東山観光「南部煎餅チョコクランチ、かたい愛で結ばれて」 - 返金／回収　原料の南部煎餅に使用された小麦粉で基準値以上の赤カビが検出されたことが判明　2023/11/30**

**★老舗白沢せんべい店「南部せんべい」 - 返金／回収　カビ毒の基準値を超過　2023/11/29**

**★白石食品工業「東北産小麦のカンパーニュ、東北産小麦のくるみカンパーニュ」 - 返金／回収　原料小麦の一部においてデオキシニバレノールが濃度の基準を超過している可能性があるため　2023/11/29**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■：行政発表が見つからなかったもの**

**★細菌性食中毒★**

**■食中毒の発生について　2023/12/19　神奈川県茅ヶ崎市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/056/419/1219.pdf>

　市民から「１２月２日に、飲食店を２人で利用したところ、下痢、腹痛等の症状を呈した。医療機関で検便を実施したところ、カンピロバクターが検出された。」旨の連絡が１２月１３日に茅ヶ崎市保健所にありました。

当所で調査を行ったところ、患者の共通の食事が当該施設で提供された食事だけであること、患者及び調理従事者の便からカンピロバクターが検出されたこと、患者の症状、潜伏期間がカンピロバクターによる食中毒症状と一致すること、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、本日、当該施設で提供された食事を原因とする食中毒と決定しました。

１ 摂食者数 ２人（男性：１人 女性：１人） （調査中）

２ 患 者 数 ２人（男性：１人 女性：１人） （調査中）

※ 全員快方に向かっていると聞いております

３ 入院者数 ０人

４ 主な症状 水様性下痢、発熱、腹痛等

５ 原因施設

名 称 炭火焼き鶏 燈

業 種 飲食店営業（飲食店）

所在地 茅ヶ崎市

６ 原因食品 当該施設で提供された食事 （調査中）

　　　【１２月２日に提供された主なメニュー】

　　　　焼鳥（ねぎま、レバー、背肝（腎臓）、やげん軟骨、手羽先、だきみ（皮付きムネ肉）、ハツ）、山芋鉄板焼き、インカの目覚めバター醤油等

７ 病因物質 カンピロバクター・ジェジュニ

８ 措 置 当該施設に対して、１２月１９日（火）から 営業禁止

**■名東区の焼鳥店で10人が食中毒、営業禁止処分　６人からカンピロバクター検出**

**2023年12月19日 18時12分　中日新聞****愛知県名古屋市**

**カンピロバクター**

<https://www.chunichi.co.jp/article/824520>

**食品衛生法に基づく行政処分（食中毒）　223/12/19　愛知県名古屋市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000170481.html>

　公表年月日：令和5年12月19日

処分年月日：令和5年12月19日

業種：飲食店営業

施設の名称：焼鳥　りっぷ

施設の所在地：名古屋市

行政処分の理由：食品衛生法第6条第3号違反（食中毒）

行政処分の適用条項：食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条第1項の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた場合における、食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号）第55条第1項

行政処分の内容及び措置状況：飲食店営業の営業禁止

原因食事：12月9日夜に当該施設で提供された食事（焼鳥（もも、せせり、肝等）、手羽先唐揚げ、砂肝とセロリとみょうがの和え物、ささみのタタキ、リゾット　等）

病因物質：カンピロバクター・ジェジュニ（名古屋市衛生研究所で検査を実施）

患者数：10名

**■食品衛生法違反者の公表について（施設に対する行政処分等）　2023/12/17　大阪府大阪市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000527025.html>

　公表年月日：令和5年12月17日

施設名称　鳥琴

施設所在地　大阪府大阪市中央区

業種　飲食店営業

行政処分等の理由　食品衛生法第6条第3号違反（食中毒の発生）

行政処分等の内容　営業停止2日間

備考

【病因物質】カンピロバクター

【原因食品】一品料理（詳細について調査中）

【有症者】4名

**★ウイルスによる食中毒★**

**■結婚式場で集団食中毒　2歳から73歳までの男女50人が下痢やおう吐　ノロウイルスG２検出　披露宴で提供の食事が原因　大分　12/21(木) 16:48配信　OBS大分放送**

**大分県大分市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e99acba6ffdad9d95e692abc167fbe9faa575bf9>

**食中毒の発生についてお知らせします　2023/12/21　大分県大分市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.oita.oita.jp/o095/shokuhin/20231221shokuchudokuhoudou.html>

　1.概要

12月19日（火曜日）午前9時7分に、原因施設営業者から、「12月16日（土曜日）に開催された披露宴に出席した複数名が体調不良を呈している。」との連絡がありました。

調査の結果、披露宴出席者125人のうち50人に下痢、腹痛、発熱等の症状があることが判明しました。

大分市保健所は、当該飲食店が提供した食事を原因としたノロウイルスGⅡによる食中毒と断定し、本日、食品衛生法に基づき、営業停止（2日間）を命令しました。

2.調査結果

1 調査結果

（1）発生日時 12月16日（土曜日）午後10時頃

（2）原因施設

　 所在地 大分市

　営業の種類 飲食店営業 一般食堂・レストラン

　屋号 ザ クラウンヴェール ロータスベイ

（3）原因食品 12月16日（土曜日）に当該原因施設が調理提供した食事

（4）病因物質 ノロウイルスGⅡ

　患者便6検体、調理従事者便1検体からノロウイルスGⅡを検出

　 ※検査機関：大分市保健所衛生課衛生検査担当班、大分県衛生環境研究センター

（5）喫食者数 125人

（6）患者数 50人（調査中）



（7）症状 下痢、腹痛、発熱、嘔吐、吐き気 等

（8）受診状況 医療機関受診者25人

（9）潜伏期間 5～73時間

（10）患者状況 現在は、全員快方に向かっています。

2 食中毒と断定した理由

（1）患者らの共通食は、当該原因施設が調理提供した食事のみであること。

（2）患者の便および調理従事者の便からノロウイルスGⅡを検出し、患者の症状および潜伏時間がノロウイルスによるものと一致していること。

（3）医師から食中毒患者の届出が提出されたこと。

以上のことから、上記施設を原因とするノロウイルスGⅡによる食中毒と断定しました。

3 原因施設への措置内容等

（1）行政処分

営業停止命令 12月21日（木曜日）から22日（金曜日）まで（2日間）

（2）指導内容

・提供する食事は十分な加熱を行い、二次汚染予防を徹底すること。

・調理場内の清掃、消毒を徹底すること。

・手指の洗浄、消毒を十分に行うこと。 等

**■職場の忘年会で食中毒…客41人が下痢や嘔吐等の症状 飲食店を営業禁止処分に 刺身やローストビーフ等提供　12/21(木) 6:30配信　東海テレビ****愛知県名古屋市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e093e61bfaff6ca307aaaa95b3eb8d2d39b3f318>

**食品衛生法に基づく行政処分（食中毒）2023/12/21　愛知県名古屋市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000162566.html>

　公表年月日：令和5年12月20日

処分年月日：令和5年12月20日

業種：飲食店営業

施設の名称：東北商店金山東口店

施設の所在地：名古屋市

行政処分の理由：食品衛生法第6条第3号違反（食中毒）

行政処分の適用条項：食品衛生法第60条第1項

行政処分の内容及び措置状況：飲食店営業の営業禁止

原因食事：12月14日夜に当該施設で提供された食事（芋煮、刺身五種盛り、サラダ、海老と蓮根のはさみ揚げ、豚の角煮、味噌鍋　等）、12月16日夜に当該施設で提供された食事（ローストビーフ、刺身七種盛り、サラダ、天麩羅、ステーキ　等）

病因物質：ノロウイルス（名古屋市衛生研究所で検査を実施）

患者数：41名

**■東京・中央区の中華料理店で食中毒　ノロウイルス検出　39人が下痢やおう吐**

**12/20(水) 17:55配信　TBS NEWS DIG Powered by JNN　中央区**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a81b38dc88462d2c8bf3a7dac7520a463e482fda>

**飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2023/12/20　中央区**

**ノロウイルス**

<https://www.city.chuo.lg.jp/a0030/kenkouiryou/eisei/shokuhineisei/shokuchuudoku/kohyo.html>

　食中毒1

公表年月日　令和5年12月20日

業種等　飲食店営業

施設の名称　中華居酒屋 彩味園 茅場町店

営業所所在地　東京都中央区

主な適用条項　食品衛生法第6条及び第60条

不利益処分を行った理由

食中毒（令和5年12月8日に上記店舗にて調理、提供された食事）

不利益処分の内容　12月20日から12月22日まで（3日間）の営業停止

備考

病原物質 ノロウイルス

営業者は12月16日から12月19日の4日間当該施設の営業を自粛しています。

**■セナラ大宮店、さいたま市が2日間の営業停止処分　ノロウイルス検出…カルビやロース食べた客ら食中毒　12/20(水) 9:14配信　埼玉新聞****埼玉県さいたま市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/25ab780cc1793c5148462401ca1ec245b3250a39>

**（令和5年12月19日発表）食中毒事件の発生について　埼玉県さいたま市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.saitama.jp/006/014/008/003/012/009/p099540.html>

　1 事件発生の探知

令和5年12月13日(水曜日)、さいたま市内の飲食店利用者から市保健所に「12月10日(日曜日)に33名で当該店舗を利用し、12月11日(月曜日)から24名が腹痛、嘔吐、下痢の症状を呈している。」という旨の通報があり、調査を開始しました。

2 調査結果（発表日現在）

喫食者数：5グループ53名

患者数　：38名

喫食日時：令和5年12月10日(日曜日)12時頃から18時30分頃

発症日時：令和5年12月11日(月曜日)2時頃から令和5年12月12日(火曜日)20時頃

主な症状：下痢、腹痛、嘔吐、発熱　※患者は回復に向かっています。

病因物質：ノロウイルス

原因食品：令和5年12月10日(日曜日)に当該飲食店が調理、提供した食事

原因施設：飲食店（大宮区）

3 上記施設を原因施設と断定した理由

令和5年12月10日(日曜日)に当該施設で食事をした5グループ38名が、令和5年12月11日(月曜日)2時から令和5年12月12日(火曜日)20時にかけて発症していること。

発症者38名の共通食が当該施設で提供された食事に限定されたこと。

発症者25名からノロウイルスが検出されたこと。

潜伏時間、症状等の疫学的事項がノロウイルスによる食中毒と一致したこと。

患者を診察した医師から食中毒の届出が提出されたこと。

4 行政処分の内容

さいたま市保健所は、食品衛生法に基づき、原因施設に対して以下の行政処分を行いました。

処分年月日：令和5年12月19日(火曜日)

営業停止　：2日間（令和5年12月19日から令和5年12月20日まで）

5 指導内容

さいたま市保健所では、食中毒の再発防止を目的として、営業者、従業員に対する衛生教育等を行います。

6 その他

さいたま市保健所では、引き続き市内の飲食店等に対し衛生管理の徹底を喚起していきます。

**■食中毒の発生について　公開日：2023年12月19日　大阪府枚方市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000049251.html>

　公表年月日　2023/12/19

　原因施設の業種　飲食店営業

　施設の名称　日本料理　大屋

　所在地　大阪府枚方市

　違反の理由　食品衛生法第6条第3号違反

　措置状況　営業停止1日間

　備考

　　・病因物質　ノロウイルス

・原因食品　令和5年12月12日に当該施設で提供された食事

・患者数　15名（12月19日時点）

**■唐揚げやカツカレー弁当食べ２３人が食中毒、店は無許可製造…保健所が営業行わないよう指導**

**12/17(日) 11:50配信　読売新聞オンライン　山梨県甲府市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c5a4d9f348c446c7a4af3be356ad29e33fa6fbb8>

**弁当食べた23人が食中毒　無許可製造、ノロウイルス検出　山梨**

**12/17(日) 9:51配信　朝日新聞デジタル****山梨県甲府市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e8849708d3b14b820d1eebccfbfca16a0b8c6867>

**飲食店が調理・提供した「弁当」が原因の集団食中毒　ノロウイルスを検出　山梨・甲府市**

**12/16(土) 19:48配信　UTYテレビ山梨****山梨県甲府市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/13c33a0cbde0f66053d97808d6e8636f40f90733>

**無許可業者の弁当で集団食中毒 23人が体調不良訴える 山梨県**

**12/16(土) 18:38配信　YBS山梨放送****山梨県甲府市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/cdd8ae17ec391b8d2521b1c5c948b2368ba56c99>

**弁当食べおう吐などの症状 ノロウイルス検出 食中毒と断定**

**12月16日　16時14分　山梨 NEWS WEB　山梨県甲府市**

**ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kofu/20231216/1040022124.html>

**■女性8人が下痢や発熱などの症状訴え…居酒屋でノロウイルスによる食中毒が発生　保健所が7日間の営業停止命令　12/16(土) 18:44配信　ＡＴＶ青森テレビ　青森県黒石市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/66ce2f27b03cdcac0dcf83888fd220ab1d7d7183>

**黒石市の飲食店が提供した弁当を食べた8人が下痢や発熱　ノロウイルス検出などで食中毒と断定　12/16(土) 18:30配信　ABA青森朝日放送****青森県黒石市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c8b7d9c509e74ca94f25e5867239b673856d5721>

**ノロウイルス　食中毒８人　飲食店７日間営業停止**

**12/16(土) 17:43配信　青森放送****青森県黒石市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0bfe3b8fe096c5f6ff6df589aad0c00bbc0ac7d8>

**黒石市の居酒屋が製造した弁当でノロウイルスによる食中毒が発生　保健所が7日間の営業停止命令　青森県　12/16(土) 16:08配信　ＡＴＶ青森テレビ****青森県黒石市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/183c77eebbb5921ffc90ddb3baffe735f75d4d91>

**食品衛生法違反者等の公表　2023/12/16　青森県黒石市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/violation01.html>

　行政処分の対象となった食品等

　令和5年12月4日、12月6日及び12月7日に当該施設が調製した弁当

被処分施設等の所在地・名称

　住所：黒石市

名称：居酒屋　秀

　行政処分等を行った理由

　　食品衛生法第6条第3号違反（同施設が調製した弁当を原因とする食中毒）

　行政処分等の内容

　　営業停止（7日間）：令和5年12月16日から令和5年12月22日まで）

　行政処分等を行った措置状況

　　改善指示（施設内の整理整頓、清掃及び消毒等）

**食中毒が発生しました　2023/12/16　青森県黒石市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.aomori.lg.jp/release/2023/75121.html>

　内容

(1)令和5年12月11日(月)午前9時45分頃、中南地域県民局地域健康福祉部保健総室(弘前保健所)に、管内住民から「知人4名等が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、食中毒を疑っている。」旨の連絡があった。

(2)同地域県民局による調査の結果、当該患者を含む8名が下痢、発熱、腹痛等の症状を呈しており、この8名は、黒石市内の飲食店営業施設が12月4日(月)、12月6日(水)又は12月7日(木)に調製した弁当を喫食していたことが判明した。

(3)同地域県民局では、患者の便及び調理従事者の便からノロウイルス(GⅡ)が検出されたこと、患者の潜伏期間及び臨床症状がノロウイルスによるものと一致していること、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、当該施設が調製した弁当を原因とする食中毒と断定した。

2発生年月日　令和5年12月5日(火)

3喫食者数　17名

4患者数　8名(受診者6名 入院なし)

5主な症状　下痢、発熱、腹痛

6原因施設

(1)施設名 居酒屋 秀(いざかや しゅう)

(2)施設所在地 黒石市

(3)業種 飲食店営業

7原因食品　12月4日(月)、12月6日(水)及び12月7日(木)に当該施設が提供した弁当

8病因物質　ノロウイルス(GⅡ)(検査機関:青森県環境保健センター)

日程　2023年12月16日

<https://www.pref.aomori.lg.jp/release/files/2023/75121.pdf>

　１ 概 要

(1) 令和５年 12 月 11 日（月）午前９時 45 分頃、中南地域県民局地域健康福祉部保健総室（弘前保健所）に、管内住民から「知人４名等が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、食中毒を疑っている。」旨の連絡があった。

(2) 同地域県民局による調査の結果、当該患者を含む８名が下痢、発熱、腹痛等の症状を呈しており、この８名は、黒石市内の飲食店営業施設が 12 月４日（月）、12 月 6 日（水）又は 12 月７日（木）に調製した弁当を喫食していたことが判明した。

(3) 同地域県民局では、患者の便及び調理従事者の便からノロウイルス（ＧⅡ）が検出されたこと、患者の潜伏期間及び臨床症状がノロウイルスによるものと一致していること、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、当該施設が調製した弁当を原因とする食中毒と断定した。

２ 発生年月日　令和５年 12 月５日（火）

３ 喫食者数　１７名

４ 患者数　８名（受診者６名 入院なし）テーブル

自動的に生成された説明

　　　（ ）内に受診者数再掲 ※患者は、快復傾向にある。

５ 主な症状　下痢、発熱、腹痛

６ 原因施設

(1) 施 設 名 居酒屋 秀（いざかや しゅう）

(2) 施設所在地 黒石市

(3) 業 種 飲食店営業

７ 原因食品

　12 月４日（月）、12 月６日（水）及び 12 月７日（木）に当該施設が提供した弁当

８ 病因物質　ノロウイルス（ＧⅡ）（検査機関：青森県環境保健センター）

９ 行政対応

　令和５年 12 月 16 日(土)、中南地域県民局は、食品衛生法に基づき当該施設の営業者に対し、令和５年 12 月 16 日(土)から令和５年 12 月22 日（金)まで７日間の営業の停止を命じた。

＜参考＞

提供された弁当

おまかせ弁当（魚料理、肉料理等）、唐揚げ弁当、イカメンチ弁当

食中毒発生状況 （令和５年１２月１６日現在）

テーブル

自動的に生成された説明

＜本県でのノロウイルス食中毒発生状況＞

事件数 患者数 青森市発生状況 八戸市発生状況

平成２８年 ４件 １１５名 （１件 ３２名）

平成２９年 ０件 ０名

平成３０年 １件 ７６名

平成３１年 ２件 ７７名 （１件 ３名）

令和 ２年 ２件 ４６名 （１件 １０名）

令和 ３年 １件 １０名 （１件 ９名）

令和 ４年 １件 ９名 （１件 ４名）

令和 ５年 １件 ８名（本件を含む）

※平成１８年１０月から青森市分、平成２９年１月から八戸市分を別計上

**■奄美の飲食店で食中毒、営業停止1日　男女13人が嘔吐や下痢、一部の便からノロウイルス**

**12/16(土) 8:46配信　南日本新聞　鹿児島県奄美市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bc807bb7c94f44354117a9ef1ea62951b82196cf>

**鹿児島・奄美市の飲食店で１３人食中毒　ノロウイルスで**

**12/15(金) 19:22配信　鹿児島ニュースＫＴＳ　鹿児島県奄美市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2dc7d2f9415747ef2b740ed8865a300815dd01a3>

**奄美市の飲食店でノロウイルスによる食中毒　１３人が症状を訴え　店は１日営業停止処分　鹿児島　12/15(金) 12:33配信　MBC南日本放送****鹿児島県奄美市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/df01ad3b30d6c59880fa628962a3b7ca58c2c20c>

**名瀬保健所管内で発生した食中毒について　2023/12/15　鹿児島県奄美市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.kagoshima.jp/ae09/kenko-fukushi/yakuji-eisei/syokuhin/syokutyuudoku/r0501213nazehc_yakunikubar_masa.html>

　1概要

令和5年12月8日（金曜日），名瀬保健所に同保健所管内の飲食店の利用者から，食中毒症状を呈した旨の連絡があり，同保健所が調査したところ，当該飲食店を利用した5グループ13名が嘔吐，下痢，腹痛等の症状を呈していることが判明しました。

名瀬保健所は当該飲食店において提供された食事が原因の食中毒と判断し，当該飲食店に対して営業停止命令を行いました。

2原因施設

営業所名称：くしやきバルmasa

営業所所在地：鹿児島県奄美市

営業の種類：飲食店営業

3原因食品　当該施設において令和5年12月6日に調理・提供された食事

4原因物質　ノロウイルス

5行政処分　食品衛生法第6条第3号違反による営業停止命令

ただし，令和5年12月15日の1日間

（なお，令和5年12月9日から12月14日まで営業を自粛している）

6食中毒と判断した主な理由

・患者の共通食は当該施設が12月6日に提供した食事のみであること。

・患者の症状（嘔吐，下痢，腹痛等）がノロウイルス食中毒の症状と一致していること。

・患者の発症時間に集積性があること。

・患者9名及び調理従事者1名の便からノロウイルスが検出され，遺伝子型が一致したこと。

7患者の発生状況

患者13名（男性5名：25歳～50歳，女性8名：21歳～38歳）

うち，医療機関受診者8名（男性3名：25歳～50歳，女性5名：21歳～35歳）

患者は快方に向かっている。

**■【再掲】飲食店営業施設等に対する行政処分　2023/12/14　栃木県大田原市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e07/life/shokuseikatsu/eisei/20210625ihansyatounokouhyou.html>

　飲食店営業者等に対し、栃木県が行った行政処分についてお知らせします。

処分年月日 令和5（2023）年12月11日

営業所の名称 有限会社鳥金本店

営業所所在地 栃木県大田原市

営業業種等 飲食店営業

原因食品等 12月6日（水曜日）に当該飲食店が提供した弁当

行政処分を行った理由 食中毒の原因食品を提供したため（食品衛生法第6条3号違反）

行政処分の内容

営業禁止（令和5（2023）年12月11日から）

営業禁止解除（令和5（2023）年12月13日）

**令和5(2023)年栃木県内の食中毒事例（宇都宮市を除く）　2023/12/11　栃木県大田原市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e07/life/shokuseikatsu/chuudoku/datar5.html>

　　発生月　12月

　　保健所　県北

　　病因物質　ノロウイルス

　　原因食品　不明（当該飲食店が提供した弁当）

　　原因施設　飲食店

　　喫食者数　14

　　患者数　13

　　死者数　0

**★寄生虫による食中毒★**

**■「しめサバ」を食べた女性がアニサキスで食中毒　徳島保健所は販売店を19日から1日間の営業停止処分　12/19(火) 18:13配信　JRT四国放送**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/54583a9b5571cdb45a0d527feffd2b5f84c4a7d2>

**「胃から寄生虫のアニサキス」しめ鯖食べた女性が食中毒「腹痛と吐き気の症状」海産物店に一部営業停止処分　徳島・小松島市**

**12/19(火) 17:24配信　MBSニュース　徳島県小松島市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/06f33b14ecc077056fa1f11d54f21891d4e8010e>

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■腸管出血性大腸菌感染症の入院事例について　2023/12/15　１８時３０分　福岡県柳川市**

**感染症　腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ２＋）**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/208898.pdf>

　令和５年１２月１５日、南筑後保健福祉環境事務所に、管内の医療機関から腸管出血性大腸菌感染症の届出があり、患者が入院していることが判明しましたのでお知らせします。

１ 患者

（１）年齢等　７８歳、女性、柳川市在住

（２）経過

１２月１０日 腹部に違和感が出現。

１２月１１日 腹痛、下痢、血便が出現。

　　１２月１２日 症状が継続したため、Ａ医療機関を受診、同日、Ｂ医療機関を紹介受診し入院。

　　１２月１５日 検査の結果、腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ２＋）の感染が判明。

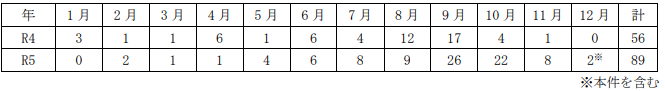
現在、治療中であり、症状は改善傾向にある。

２ 原因　調査中。

３ 行政対応

南筑後保健福祉環境事務所が患者に対し健康調査、疫学調査を実施し、二次感染予防の指導を行っている。

※ 腸管出血性大腸菌感染症患者・無症状病原体保有者（保菌者）の届出状況

（北九州市・福岡市・久留米市を除く）（令和５年１２月１５日現在）

**■認定こども園における腸管出血性大腸菌感染症（O26）の集団発生について（最終報）　2023/12/15　山梨県甲府市**

**感染症　腸管出血性大腸菌感染症（O26）**

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/imkansen/press.html>

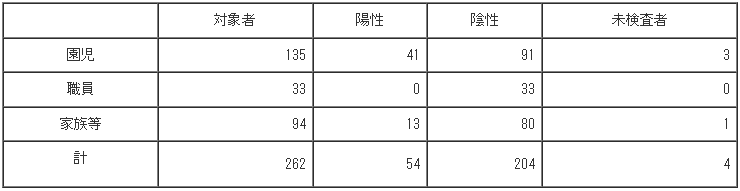
　下線を附した部分が、前回の公表からの更新です。

患者数　54名（園児41名、家族等13名）　※全員の陰性を確認しました。

入院患者はいない。

主な症状　下痢、軟便、腹痛、嘔吐、発熱（最高 39度台）等

認定こども園の園児、職員及び家族等の検便の検査結果



※届出患者及び県保健所に検査を依頼した者を含みます。

※家族等の陽性者13名には、小学生5名を含みます。

※未検査者の4名は、陽性者との最終接触から、潜伏期間を考慮して健康観察を実施し、症状がないことを確認したので検査は行わないこととしました。

**★ウイルスによる感染症★**

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１２月２１日 １５：００現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/116235/1/051221noro.pdf?20231221144950>

東区及び西区内の保育施設で、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関に

よる検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 東区内の保育施設

（１）経緯

１２月１０日（日） ４名の園児に嘔吐、下痢、発熱の症状が出現。

以後、複数の園児に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１２月１２日（火） 当該施設より、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

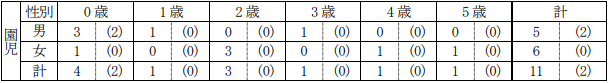
東保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１２月１４日（木） 当該施設より、新たな有症状者が発生していると報告があった。

東保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を再度指導した。

１２月２１日（木） 東保健所が有症状者の発生状況を確認するとともに、感染拡大防止について改めて指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数



（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**２ 西区内の保育施設**

（１）経緯　１２月１２日（火） １名の園児に嘔吐の症状が出現。

以後、複数の園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状が出現。

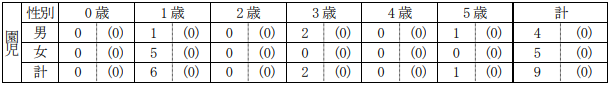
１２月１４日（木） 当該施設より、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

西保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１２月１５日（金） 当該施設より、新たな有症状者が発生していると報告があった。

西保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を再度指導した。

１２月２１日（木） 西保健所が有症状者の発生状況を確認するとともに、感染拡大防止について改めて指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数



（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

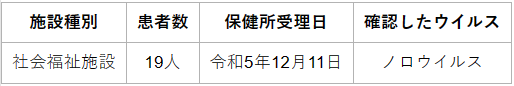
② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**■感染性胃腸炎患者等の集団発生について　2023/12/21　北海道小樽市**

<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2023081500038/>

　小樽市内で感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者が発生したのでお知らせします。

発生の概要



**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１２月２0日 １５：００現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/116235/1/051220noro.pdf?20231221144950>

東区内の保育施設で、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 東区内の保育施設

（１）経緯

１２月１１日（月）２名の園児に下痢の症状が出現。

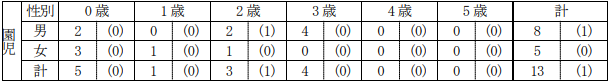
以後、複数の園児に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１２月１９日（火）当該施設より、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

東保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１２月２０日（水）東保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止について再度指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

****

（３）有症状者の発症状況



　（４）症状　嘔吐、下痢、発熱 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１２月19日 １５：3０現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/116235/1/051219noro.pdf?20231221144950>

　　南区内の保育施設で、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 南区内の保育施設

（１）経緯

１２月１４日（木） １名の園児に嘔吐の症状が出現。

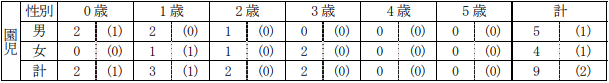
　　　　　　　　　　　　以後、複数の園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１２月１６日（土） 当該施設より、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

１２月１８日（月） 当該施設より、新たな有症状者が発生していると報告があり、南保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１２月１９日（火） 南保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止について再度指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数





　（３）有症状者の発症状況



　（４）症状　 嘔吐、下痢、発熱 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**■感染性胃腸炎の集団発生について　2023/12/18　栃木県**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/kansensaiyou/documents/20231218kansenseiichouen.html>

　概 要

感染症名：感染性胃腸炎(5類感染症)【原因病原体：ノロウイルス】

・集団発生の時期：令和5(2023)年12月7日(初発)

・集団発生の場所：県北健康福祉センター管内の認定こども園

・発症の状況：令和5(2023)年12月7日～令和5(2023)年12月17日、計30名（園児28名、職員2名）

・経過：

　　　 令和5(2023)年12月15日、県北健康福祉センターは、管内の認定こども園において複数の園児及び職員が、嘔吐、下痢等の症状を呈している状況を探知し、同日、同センターで調査及び指導を実施した。

　　　また、12月18日に保健環境センターにおいて4名の検体（便）の検査を実施した結果、4名の検体からノロウイルスが検出された。重症者はなく、発症者は全員快方に向かっている。

県の対応

　　 県北健康福祉センターでは、当該情報の探知後、当該施設における予防対策（園児及び職員の健康管理、手洗い等の励行、汚物等の適切な処理等の迅速な対応）及び消毒について、指導等を実施するとともに、当該施設における発症者等の調査、原因追及のための感染源の調査を実施した。

栃木県内で報告のあった感染性胃腸炎集団発生（30名以上の患者報告数）状況（宇都宮市を含む）

平成30年 8施設（障害者施設1、小学校2、中学校1、保育所3、幼稚園1）

令和元年10施設（高齢者施設1、障害者施設1、小学校1、学校1、保育所6）

令和2年0施設

令和3年12施設（障害者施設1、保育所7、認定こども園4）

令和4年3施設（保育所2、認定こども園1）

令和5年13施設（高齢者施設1、保育所6、認定こども園6）※今回発生事例含む

**■教育・保育施設で２１人が嘔吐や下痢　感染性胃腸炎の集団発生＜岩手・盛岡市＞**

**12/18(月) 20:48配信　岩手めんこいテレビ　岩手県盛岡市**

**感染症　感染性胃腸炎**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/eba13d3094dde2cf5a1f7f516890dac05ceec8fa>

岩手県盛岡市は１２月１８日、盛岡市内の教育・保育施設で感染性胃腸炎が集団発生したと発表した。手洗いの徹底など感染対策を呼び掛けている。

盛岡市保健所によると、１２月８日に盛岡市内の教育・保育施設から複数の園児が嘔吐や下痢等の症状があると連絡があり、調査した結果、１２月２日から１２月１２日までに、園児２１人が嘔吐や下痢等の症状があったことがわかった。

全員が回復または回復傾向にあるという。

盛岡市保健所は感染対策として、トイレやおむつ交換後、調理前や食事前には石けんで十分な手洗いを行うことや、食事を調理する場合、加熱が必要な食品は８５～９０℃で９０秒間以上十分に加熱することなどを呼びかけている。

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１２月15日 １6：0０現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/116235/1/051215noro.pdf?20231221144950>

早良区内の保育施設で、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、行政検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 早良区内の保育施設

（１）経緯

１１月３０日（木）１名の園児に嘔吐、下痢等の症状が出現。

以後、複数の園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１２月 ８日（金）、１１日（月）、１２日（火）、１３日（水）

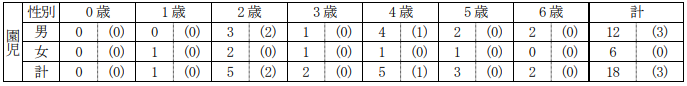
当該施設より、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈していると報告があった。

早良保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１２月１４日（木）行政検査の結果、ノロウイルスが検出された。

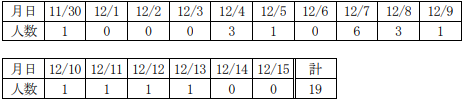
早良保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止を再度指導した。

１２月１５日（金）早良保健所が有症状者の発生状況を確認するとともに、感染拡大防止について改めて指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数



（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱、腹痛 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品・回収等★**

**■違反食品に対する不利益処分等　2023/12/20　世田谷区**

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/003/005/d00144614.html>

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/003/005/d00144614_d/fil/20231220.pdf>

公表年月日　令和5年12月20日

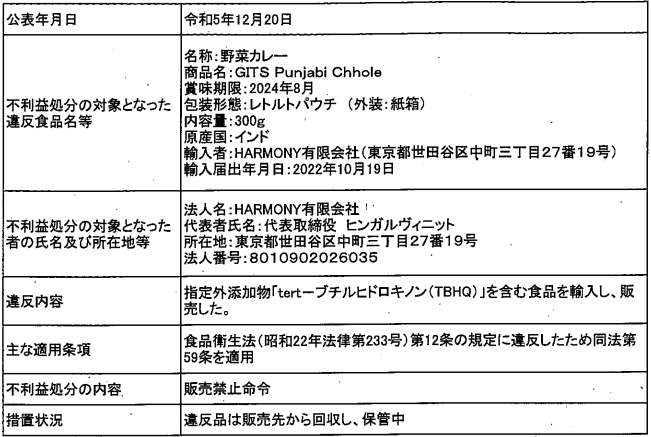
違反内容　　指定外添加物「tert－ブチルヒドロキノン（TBHQ）」を含む食品を輸入し、販売した。

主な適用条項　食品衛生法（昭和22年法律第233号）第12条の規定に違反したため　　　　　　　　　同法第59条を適用

不利益処分の内容　販売禁止命令

措置状況　違反品は販売先から回収し、保管中。

※　詳細については、添付ファイルの「不利益処分等の詳細」をご覧ください。



**■かび毒（デオキシニバレノール）を検出した岩手県産小麦の流通について　2023/12/15**

**岩手県**

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/anzenanshin/shoku/joho/1070831.html>

　「かび毒（デオキシニバレノール）を検出した岩手県産小麦の流通について

全国農業協同組合連合会岩手県本部が販売した岩手県産小麦（ナンブコムギ）の一部において、かび毒（デオキシニバレノール）が食品衛生法で定める基準値を超過していたことが判明しました。

現在、全国農業協同組合連合会岩手県本部が関係事業者と連携しながら自主回収を実施しております。

JA全農いわて特設コールセンター　0120-631-168（フリーダイヤル）

全農岩手県本部のホームページ（外部リンク）<https://www.junjo.jp/news/index.html>

県内食品事業者による自主回収状況

本事案の対象商品は、No.59～No.70です。

食品の自主回収情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/anzenanshin/shoku/joho/1004488.html>

**デオキシニバレノール（DON）について**

DONは、穀類（特に小麦、大麦及びトウモロコシ）の赤カビ病の病原菌が産生するかび毒です。

DONに汚染された食品を食べると、30分以内に悪心、嘔吐、下痢、腹痛、頭痛、めまい及び発熱といった急性症状が現れることがあります。

食品安全委員会が実施した食品健康影響評価の結果と今回の小麦から検出されたDONの濃度から推定すると、通常の摂取量で健康に影響を及ぼす可能性は低いと推定されます。

食品安全委員会の食品健康影響評価（外部リンク）

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20180222161>

**岩手県では影響が多岐にわたることから、関係部局が連携して対応しております。**

窓口は以下を御確認ください。

県内の製品の自主回収及び食品の安全性に関すること

県民くらしの安全課又は最寄りの保健所にご相談ください。

食品衛生・食品営業許可等窓口

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/anzenanshin/shoku/joho/1049750.html>

県内の小麦の生産・集荷に関すること

農林水産部農産園芸課　　電話番号　019-629-5708

県内の食品加工業者に関すること

商工労働観光部産業経済交流課　　電話番号　019-629-5531

県内の学校給食に関すること

教育委員会保健体育課　　電話番号　019-629-6187

県内のふるさと納税の返礼品に関すること

ふるさと振興部市町村課　電話番号　019-629-5231

　盛岡市のふるさと納税返礼品について　　盛岡市都市戦略室

電話番号　019-613-8370

　宮古市のふるさと納税返礼品について　　宮古市財政課

電話番号　0193-68-9068

　花巻市のふるさと納税返礼品について　　花巻市定住推進課

電話番号　0198-41-3516

　北上市のふるさと納税返礼品について　　北上市産業雇用支援課

電話番号　0197-72-8236

二戸市のふるさと納税返礼品について　　二戸市政策推進課

電話番号　0195-23-3115

　八幡平市のふるさと納税返礼品について　八幡平市企画財政課

電話番号　0195-74-2111（代表）

　奥州市のふるさと納税返礼品について　　奥州市未来羅針盤課

電話番号　0197-34-2116

　軽米町のふるさと納税返礼品について　　軽米町総務課

電話番号　0195-46-2111（代表）

**■出荷したラ・フランスから認められていない農薬検出　近隣の畑から飛散し付着か　山形県発表**

**12/13(水) 18:12配信　YBC山形放送　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3471eebd180237ec089075637d35e47242c0469e>

**■韓国産メバチマグロを宮城県産など不適切表示…「トライアル」北海道３店舗で、農水省が是正指示　2023/12/13 16:28　読売新聞オンライン　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www.yomiuri.co.jp/local/kyushu/news/20231213-OYTNT50056/>

**「韓国産」めばちまぐろを「宮城県産」に…スーパー大手トライアルの店舗で事実と異なる原産地表示　農林水産省が是正指示　2023/12/12 15:47　RKBオンライン**

**佐藤先生からいただいた情報です**

<https://rkb.jp/contents/202312/202312129211/>

**■学校給食に産地偽装の豚肉混入問題 厚木市に納入の鶏肉も**

**12月11日　19時33分　神奈川 NEWS WEB　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/yokohama/20231211/1050020478.html>

**★その他関連ニュース★**

**■コロナ派生型「JN.1」、WHOが「注目すべき株」に 世界各地で急拡大**

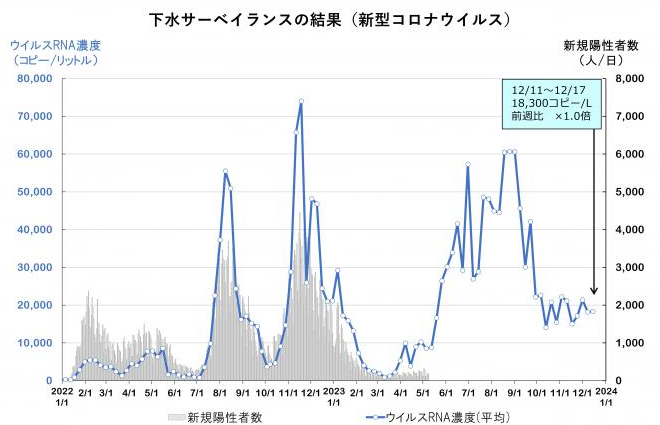
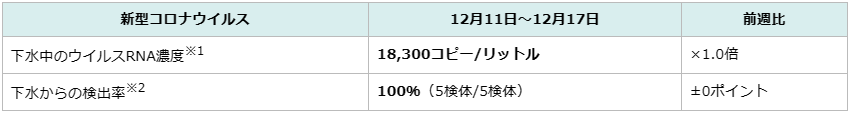
**2023/12/21　13:00 BBC News**

<https://www.msn.com/ja-jp/health/other/%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E6%B4%BE%E7%94%9F%E5%9E%8B-jn-1-who%E3%81%8C-%E6%B3%A8%E7%9B%AE%E3%81%99%E3%81%B9%E3%81%8D%E6%A0%AA-%E3%81%AB-%E4%B8%96%E7%95%8C%E5%90%84%E5%9C%B0%E3%81%A7%E6%80%A5%E6%8B%A1%E5%A4%A7/ar-AA1lORIi?ocid=msedgntp&pc=LCTS&cvid=d35a1c4c857c4c22ba52ea19f312b34c&ei=33>

**■下水サーベイランス　2023/12/19　北海道札幌市**

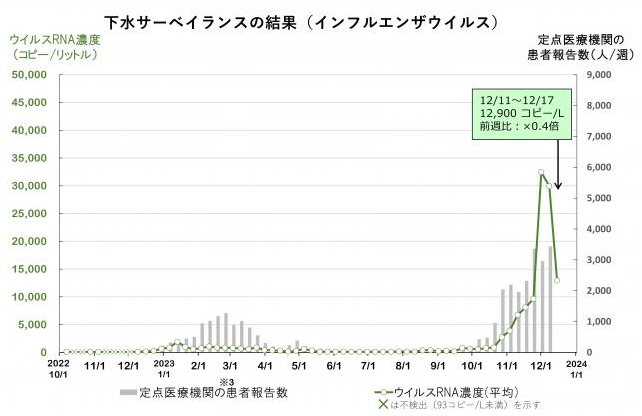
<https://www.city.sapporo.jp/gesui/surveillance.html>

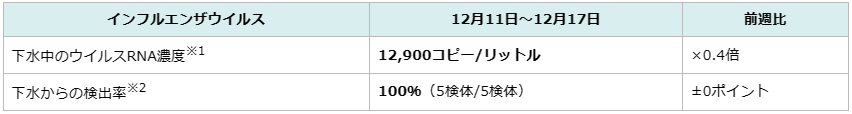
　新型コロナウイルス

　ウイルス濃度は前週から横ばいで高い水準を継続しており、引き続き注意が必要です。

　インフルエンザウイルス





　ウイルス濃度は前週から半減したものの、高い水準を継続しており、引き続き注意が必要です。

**■新型コロナワクチン接種の27件を認定 - 厚労省の予防接種審査分科会**

**12/19(火) 10:40配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6f241c6a31538474287b8098aec711a0c29e48c4>

**■アニサキスなどによる食中毒、書面での指導も可能に　長野県、事務処理要領の改正案まとめる**

**2023/12/19 10:40　信濃毎日新聞デジタル　有料会員記事**

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2023121900089>

**■【動画】ホイアン：食中毒発生の人気バインミー店が営業再開、当局は寝耳に水**

**2023/12/19 06:02 JST配信**

<https://www.viet-jo.com/news/social/231218120238.html>

**■コロナワクチン接種で健康被害、救済申請が殺到し１年半待ちも…３割強は審査にも入れず**

**2023/12/18 10:07　読売新聞オンライン**

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20231218-OYT1T50030/>

**■インフル患者再び増加、厚労省　12/15(金) 15:48配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/422df48aac8a8651bbc5f2727806ada8fc6875dd>